

中小企業景況調査報告書

平成29年度第2・四半期（7～9月）

山内一豊



Kazutoyo Yamachi

生 年 1545年(天文14)
没 年 1605年(慶長10)
享 年 61歳
出身地 尾張國黒田
幼 名 辰之助

郷土が生んだ戦国武将
「山内一豊」出生の地

黒田城跡



Site of Karoda Castle

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- . 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- . 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- . 調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- . 調査対象企業数 100事業所。

- . 調査対象企業の業種 次の表のとおり

(1) 景況調査対象事業所(100)の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(49)
(その他製造業)	(12)
卸売業	12
小売業	11
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所(49)の内訳

業 種	事業所数
擦糸業	6
織物製造業	23
染色整理加工業	9
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	49

- . 分析方法
 1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- . 分析項目
 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前期比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- . その他の分析
 1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は一時的に悪化したが、来期はやや持ち直す見通し

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、資金繰りのDI 値で、今期実績を上回り、採算、従業員のDI 値で、今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 25.0 から 35.0(10.0ポイント減)となり、来期は 26.0(9.0ポイント増)となる見通し。

売上DI 値は、前期実績 26.0 から 30.0(4.0ポイント減)となり、来期は 25.0(5.0ポイント増)となる見通し。

採算DI 値は、前期実績 22.0 から 24.0(2.0ポイント減)となり、来期は 27.0(3.0ポイント減)となる見通し。

資金繰りDI 値は、前期実績 0.0 から 13.0(13.0ポイント減)となり、来期は 10.0(3.0ポイント増)となる見通し。

従業員DI 値は、前期実績 4.0 から 5.0(1.0ポイント減)となり、来期は 6.0(1.0ポイント減)となる見通し。

繊維製造業の状況

今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で、前期実績を下回った。

来期は、資金繰り、従業員のDI 値で、今期実績横ばい、業況、売上、採算のDI 値で、今期実績を上回る見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を下回った。

指標別の状況

業況DI 値は、前期実績 12.0 から 26.0(14.0ポイント減)となった。

売上DI 値は、前期実績 1.0 から 17.0(16.0ポイント減)となった。

資金繰りDI 値は、前期実績 1.0 から 16.0(15.0ポイント減)となった。

繊維製造業の状況

今期(表 9、10 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で、前期実績を下回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(36 件、23 事業所)に比べ件数、事業所とも増加している。

今期の実績(表 4、6 参照)は 44 件(25 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』12 件、『車両・運搬具』10 件、『付帯施設』7 件となっている。

来期の計画(表 4、6 参照)は 36 件(20 事業所)。その主な内訳(予定)は、『付帯施設』9 件、『生産設備』8 件、『O A 機器』7 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『従業員の確保難』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業）

一宮市内の土木業者は、毎年増加する一方で、地域経済情勢は年々悪化しており、小規模の土木業界は最悪の状況である。

B 社（製造業 <織物>）

繊維業界は、一部を除き良くない。百貨店等での衣料品販売不振が要因だが、ネット通販など販売チャネルの多様化の影響も大きい。また、ここ2年の暖冬は紡毛ブームに水をさし、生産調整に入っていることも要因である。

C 社（製造業 <織物>）

百貨店での販売不振から前期同様に業況は悪化している。特に、ウール製品は価格が高いことから受注は減少している。ネット通販など消費者の購入方法が変わってきており、百貨店での販売不振は今後も続く予想される。

D 社（製造業 <繊維 その他>）

主力取引先の新規出店に伴い売上は増加している。併せて新しい販売経路となるドラッグストアにおいて特色ある商品展開が盛んに行われていることから、当社商品も採用され市場拡大が期待できるかもしれない。

E 社（製造業 <その他>）

当社の主力製品が海外生産に移行されたことから、売上は大幅に減少した。新しい案件への見積もりも提出しているが、量産までに1.5年～2年を要し、即売上に結びつくような即効性ある受注品が少ない。

F 社（製造業<その他>）

現状は仕事量の波が多い。今後は同業者の廃業が増え、その分、残存事業者は受注の増加が見込まれる。

G 社（小売業）

天候不順の影響により夏物の売れ行きは不調であったが、厳しい残暑であったため持ち直し傾向にある。秋物の商品入替えは通常よりスローペースで行っている。

H 社（小売業）

一人当たりの客単価は増加しているが、客数は減少しているため売上全体はほぼ横ばいに推移している。夏の限定商品の売上は昨年よりも増加している。クリスマスに向けて新商品を販売予定であり、試作品を製作中である。

I 社（サービス業）

イベント(花火大会、コンサート、祭りなど)やスーパーの駐車場誘導業務など様々なニーズはある。しかし、求人への反応は低く、人手不足で十分に受注できない状況である。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H28. 7～9月	H28. 10～12月	H29. 1～3月	H29. 4～6月	今 期 H29. 7～9月	来期の見通し H29. 10～12月
業 況	▲28.0	▲35.0	▲23.0	▲25.0	▲35.0	▲26.0
売 上	▲34.0	▲35.0	▲31.0	▲26.0	▲30.0	▲25.0
採 算	▲27.0	▲26.0	▲22.0	▲22.0	▲24.0	▲27.0
資金繰り	▲11.0	▲12.0	▲ 8.0	0.0	▲13.0	▲10.0
従 業 員	▲ 4.0	▲ 2.0	1.0	▲ 4.0	▲ 5.0	▲ 6.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H28. 7～9月	H28. 10～12月	H29. 1～3月	H29. 4～6月	今 期 H29. 7～9月	来期の見通し H29. 10～12月
業 況	▲46.9	▲55.1	▲44.9	▲42.9	▲57.1	▲40.8
売 上	▲49.0	▲49.0	▲44.9	▲40.8	▲51.0	▲32.7
採 算	▲38.8	▲40.8	▲38.8	▲32.7	▲42.9	▲38.8
資金繰り	▲18.4	▲22.4	▲10.2	▲ 4.1	▲16.3	▲16.3
従 業 員	▲ 8.2	▲ 2.0	0.0	2.0	▲ 6.1	▲ 6.1

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (0)	4 (7)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	6 (9)	▲ 35.0 (▲26.0)
	不変	5 (7)	24 (26)	9 (9)	10 (9)	5 (5)	53 (56)	
	悪化	1 (0)	33 (28)	3 (2)	1 (1)	3 (4)	41 (35)	
売上	増加	2 (0)	7 (11)	1 (1)	0 (3)	3 (1)	13 (16)	▲ 30.0 (▲25.0)
	不変	3 (5)	22 (23)	6 (6)	10 (5)	3 (4)	44 (43)	
	減少	2 (2)	32 (27)	5 (5)	1 (3)	3 (4)	43 (41)	
採算	好転	2 (0)	4 (7)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	8 (8)	▲ 24.0 (▲27.0)
	不変	4 (6)	32 (28)	9 (10)	10 (8)	5 (5)	60 (57)	
	悪化	1 (1)	25 (26)	2 (2)	1 (2)	3 (4)	32 (35)	
資金繰り	好転	0 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	▲ 13.0 (▲10.0)
	不変	7 (7)	50 (49)	10 (10)	10 (10)	8 (8)	85 (84)	
	悪化	0 (0)	10 (10)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	14 (13)	
従業員	増加	1 (0)	8 (10)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	12 (11)	▲ 5.0 (▲6.0)
	不変	4 (5)	44 (41)	10 (10)	9 (10)	4 (6)	71 (72)	
	減少	2 (2)	9 (10)	2 (2)	2 (1)	2 (2)	17 (17)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	25	来期	計画している ※2	20
	(事業所数)	実施していない	75	(事業所数)	計画していない	80

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	2 件	5. 付帯施設	7 件	9 件
2. 工場建物	2 件	3 件	6. O A 機器	5 件	7 件
3. 生産設備	12 件	8 件	7. 福利厚生施設	2 件	1 件
4. 車両・運搬具	10 件	4 件	8. その他	5 件	2 件
			合計	44 件	36 件

複数回答可

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	23	9	3	8	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (4)	▲ 57.1 (▲40.8)
	不変	2 (3)	6 (8)	4 (2)	2 (3)	5 (5)	19 (21)	
	悪化	4 (2)	17 (14)	5 (6)	1 (0)	2 (2)	29 (24)	
売上	増加	0 (1)	1 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	3 (6)	▲ 51.0 (▲32.7)
	不変	2 (2)	7 (8)	2 (3)	3 (3)	4 (5)	18 (21)	
	減少	4 (3)	15 (11)	7 (6)	0 (0)	2 (2)	28 (22)	
採算	好転	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (2)	▲ 42.9 (▲38.8)
	不変	2 (2)	12 (13)	4 (3)	2 (2)	6 (6)	26 (26)	
	悪化	4 (3)	11 (10)	5 (6)	1 (1)	1 (1)	22 (21)	
資金繰り	好転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 0	▲ 16.3 (▲16.3)
	不変	6 (6)	18 (18)	7 (7)	2 (2)	8 (8)	41 (41)	
	悪化	0 (0)	5 (5)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	
従業員	増加	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	▲ 6.1 (▲6.1)
	不変	4 (4)	19 (17)	7 (8)	3 (3)	5 (6)	38 (38)	
	減少	2 (2)	1 (3)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	7 (7)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	13	来期	計画している ※2	8
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	41

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	1 件	5. 付帯施設	2 件	3 件
2. 工場建物	0 件	0 件	6. O A 機器	2 件	1 件
3. 生産設備	7 件	5 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	5 件	1 件	8. その他	2 件	0 件
			合計	18 件	11 件

複数回答可

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H28.7～9月	H28.10～12月	H29.1～3月	H29.4～6月	今 期 H29.7～9月
業 況	▲26.0	▲23.0	▲15.0	▲12.0	▲26.0
売 上	▲15.0	▲ 8.0	▲30.0	▲ 1.0	▲17.0
資金繰り	▲12.0	▲11.0	▲ 8.0	▲ 1.0	▲16.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	4	1	0	0	6	▲ 26.0
	不 変	5	29	9	11	8	62	
	悪 化	1	28	2	0	1	32	
売 上	増 加	2	12	1	1	3	19	▲ 17.0
	不 変	3	25	7	6	4	45	
	減 少	2	24	4	4	2	36	
資 金 繰 り	好 転	0	0	0	0	0	0	▲ 16.0
	不 変	7	50	10	9	8	84	
	悪 化	0	11	2	2	1	16	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H28.7～9月	H28.10～12月	H29.1～3月	H29.4～6月	今期 H29.7～9月
業況	▲34.7	▲38.8	▲24.5	▲14.3	▲44.9
売上	▲10.2	▲28.6	▲40.8	0.0	▲22.4
資金繰り	▲16.3	▲22.4	▲12.2	▲6.1	▲18.4

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	23	9	3	8	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	0	1	0	0	1	2	▲ 44.9
	不変	4	9	4	2	4	23	
	悪化	2	13	5	1	3	24	
売上	増加	0	7	0	1	1	9	▲ 22.4
	不変	3	8	3	2	4	20	
	減少	3	8	6	0	3	20	
資金繰り	好転	0	0	0	0	0	0	▲ 18.4
	不変	6	18	7	2	7	40	
	悪化	0	5	2	1	1	9	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○民間需要の停滞	○従業員の確保難	○請負単価の低下・ 上昇難
繊維製造業	○需要の停滞	○製品ニーズの変化 への対応	○生産設備の不足・ 老朽化
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品ニーズの変化 への対応	○人件費の増加	○生産設備の不足・ 老朽化 ○製品(加工)単価の 低下・上昇難
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難 ○従業員の確保難	○商品在庫の過剰
小売業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化 ○従業員の確保難	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加	○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	1
請負単価の低下・上昇難	7
下請単価の上昇	1
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	1
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	5
民間需要の停滞	12
その他	1
合 計	41

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	39
生産設備の不足・老朽化	31
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	25
原材料の不足	0
人件費の増加	19
原材料費・人件費以外の経費の増加	10
製品(加工)単価の低下・上昇難	30
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	21
需要の停滞	74
その他	0
合 計	272

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	14
生産設備の不足・老朽化	10
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	7
原材料の不足	0
人件費の増加	12
原材料費・人件費以外の経費の増加	0
製品(加工)単価の低下・上昇難	10
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	8
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	6
その他	0
合 計	72

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1
商品在庫の過剰	5
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	6
仕入単価の上昇	4
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	6
需要の停滞	23
その他	0
合 計	58

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	10
同業者の進出	2
購買力の他地域への流出	4
消費者ニーズの変化への対応	2
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	2
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	10
需要の停滞	7
その他 (インターネット通販)	3
合 計	55

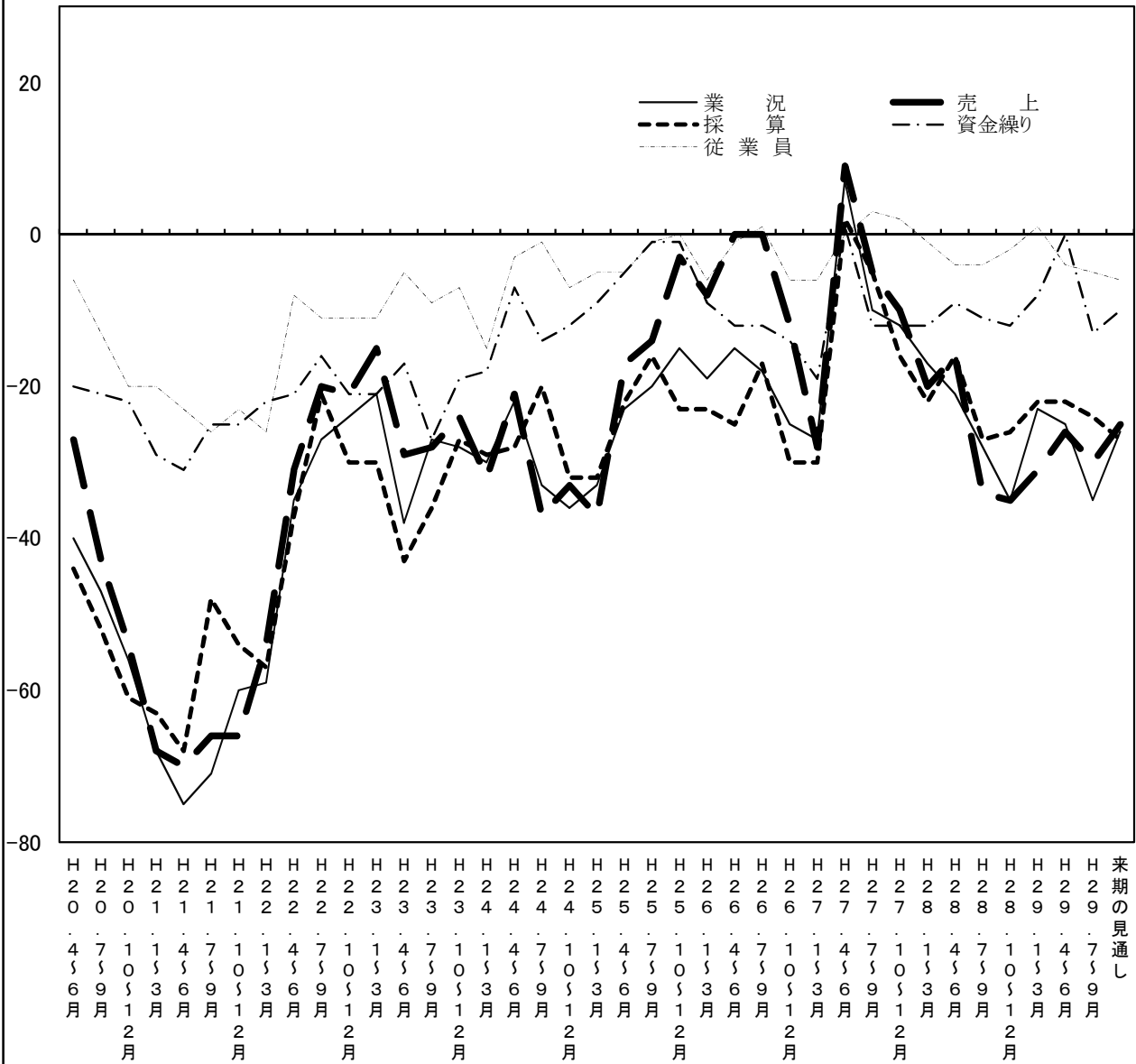
サービス業

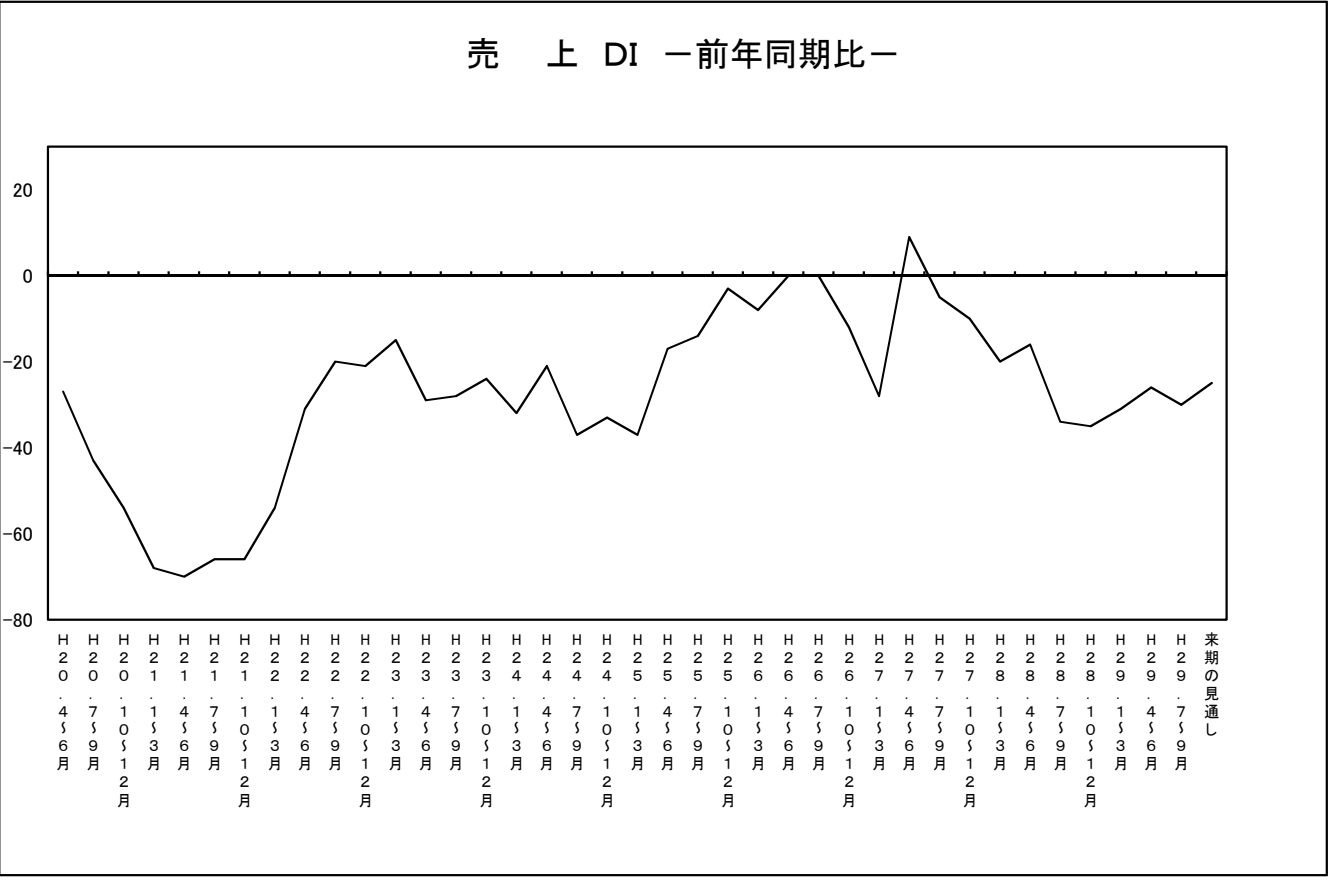
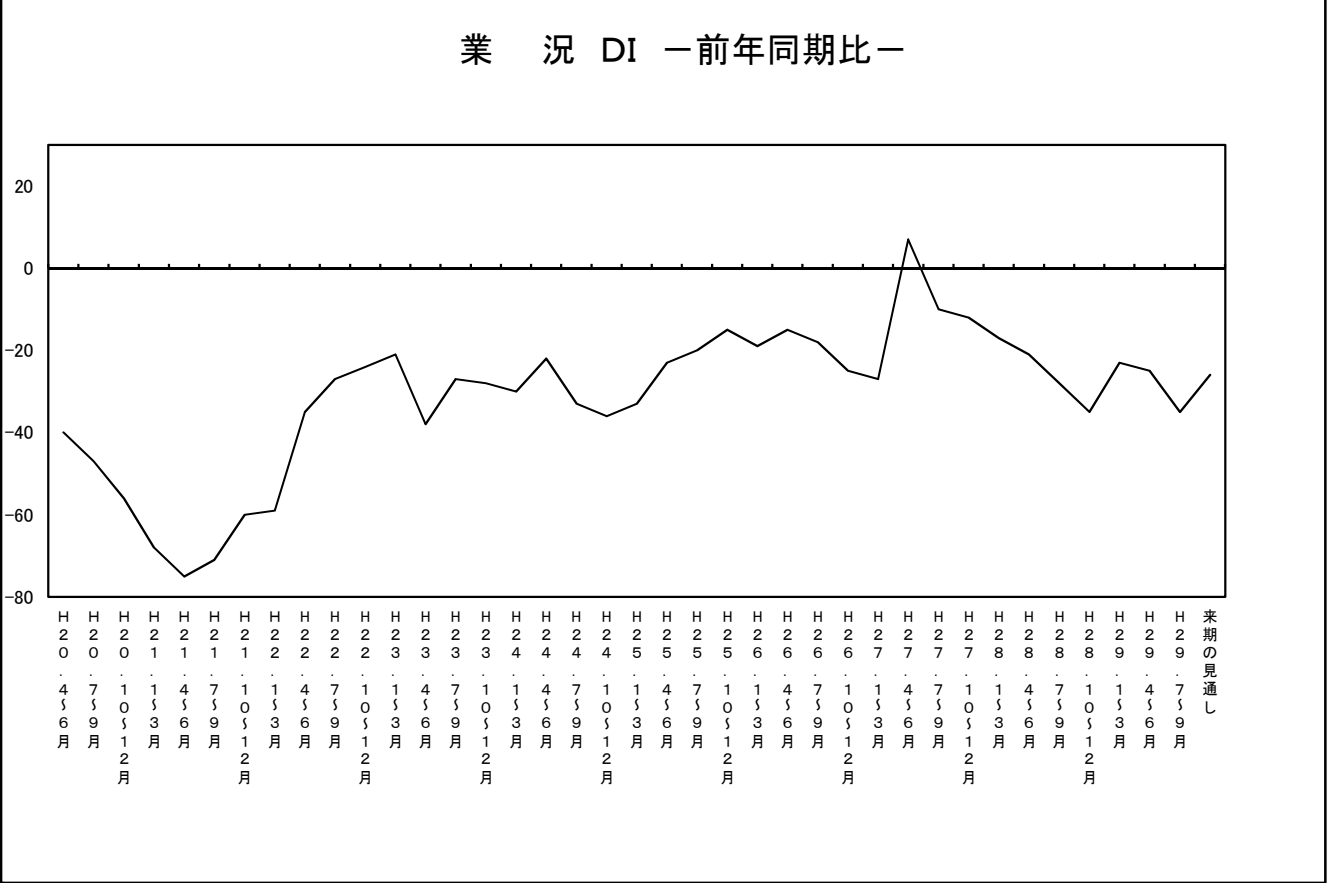
内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	3
店舗施設の狭隘・老朽化	4
人件費の増加	12
人件費以外の経費の増加	2
利用料金の低下・上昇難	3
材料等仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	1
需要の停滞	5
その他	0
合 計	44

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

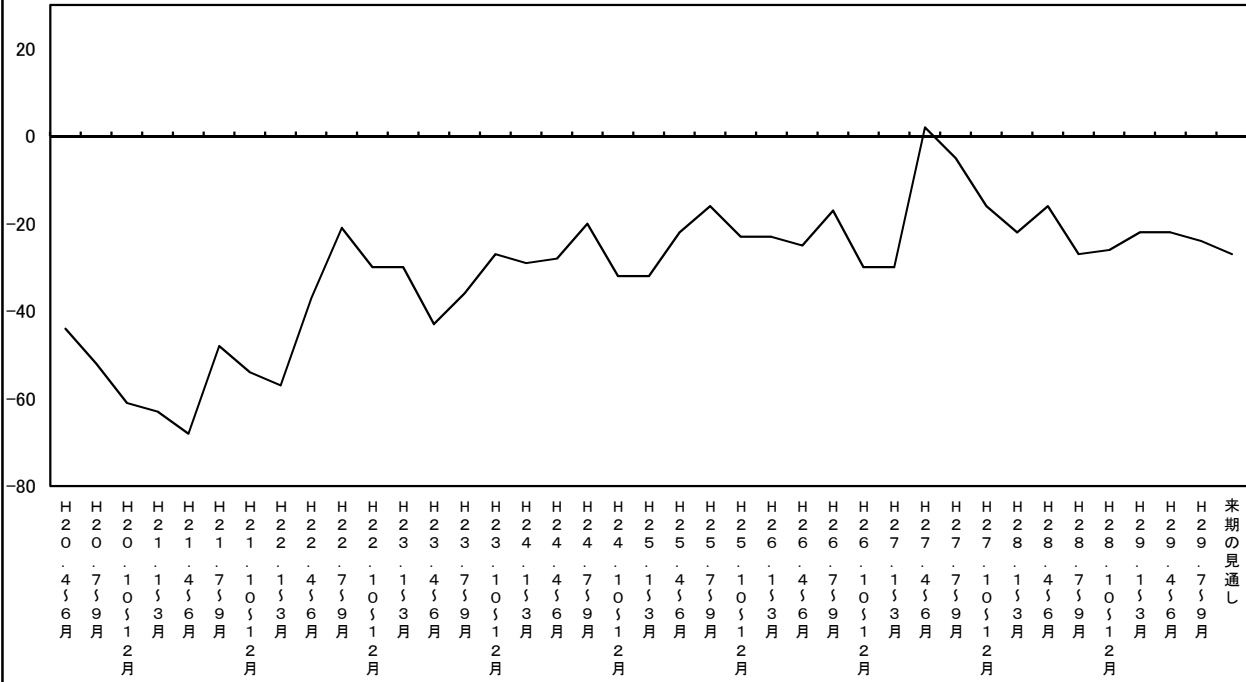
図 1

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

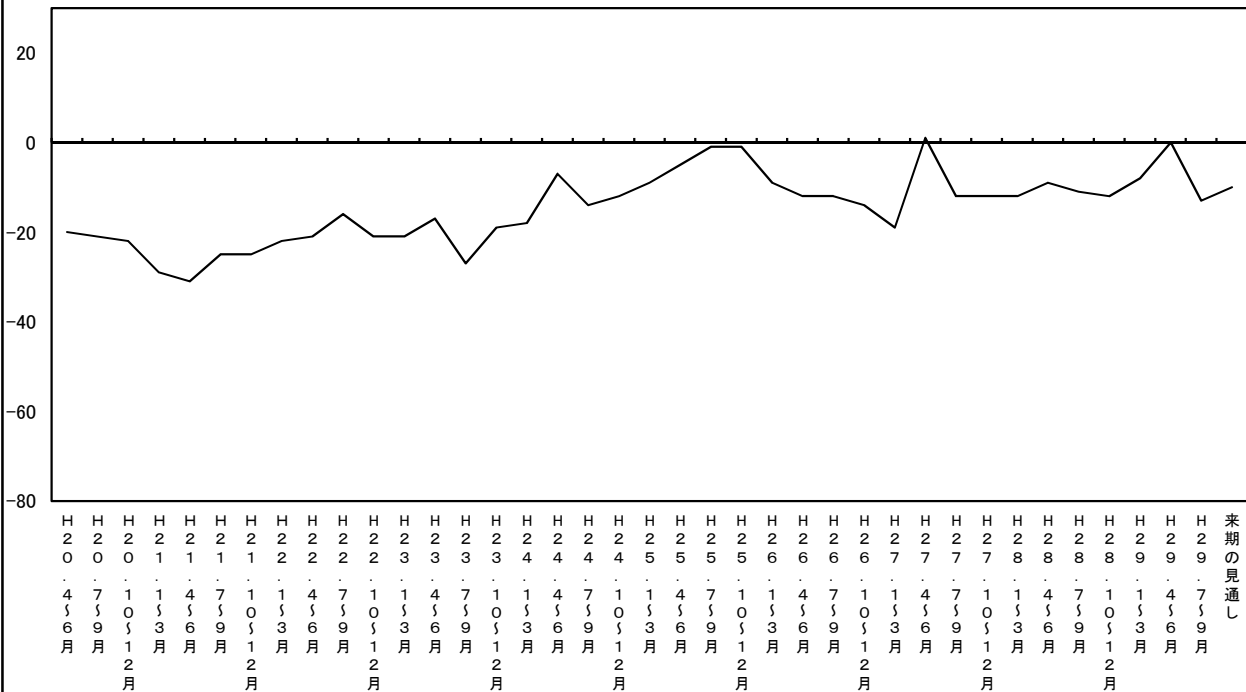




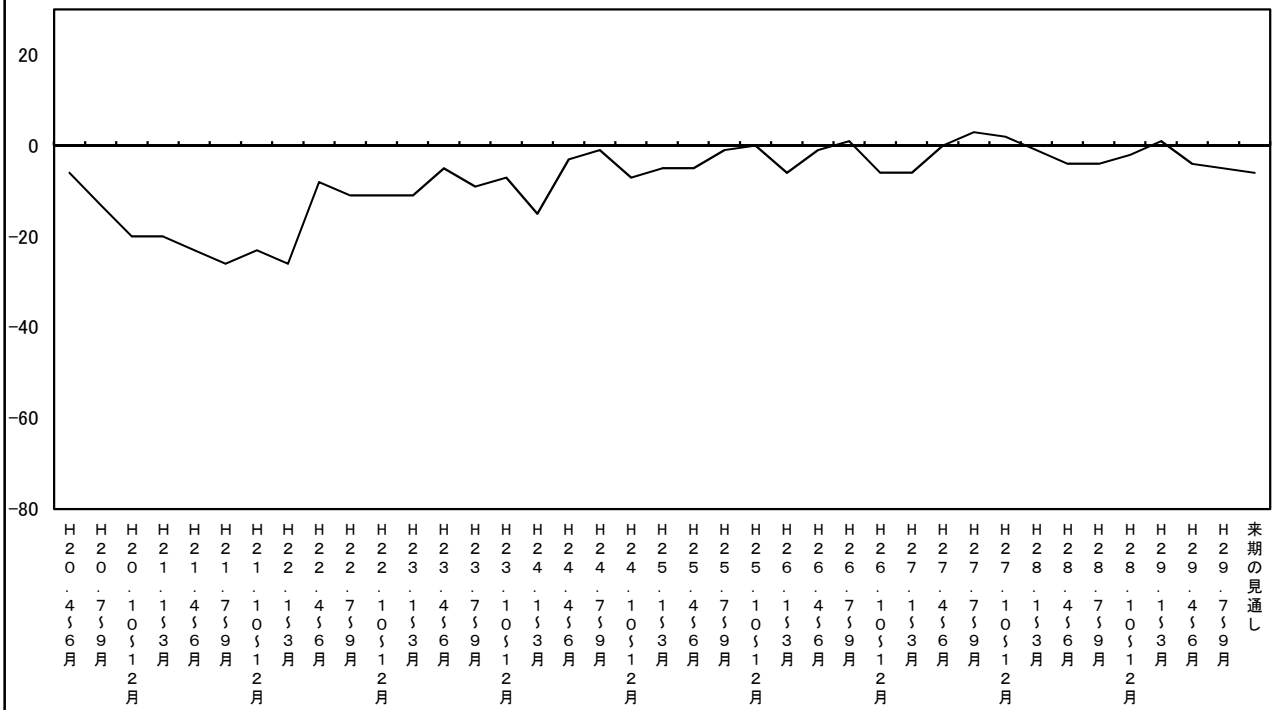
採算DI -前年同期比-



資金繰りDI -前年同期比-



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp